

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業 I

児童 1年2組 男子19名 女子16名 計35名

指導者 板井 葉子

1 単元名 おきにいりのじどう車をともだちにしょうかいしよう!

中核教材:「じどう車くらべ」

補助教材:「はたらくくるま 30」 他

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、「C 読むこと」の指導事項イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」及び、指導事項エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」について主に扱い、主となる目標を「自分の知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みがなぜそうになっているのかを文章から見つけながら読むことができる。」と設定した。

主教材「じどう車くらべ」は、4つの意味段落からなり、3種類の自動車について「しごと」と「つくり」が同じ順序でくり返し説明されているので、事柄の順序を考えながら読み進めやすいという特徴を持っている。

第1・2学年で順序を考えながら内容の大体を読む学習をすることは、第3・4学年での要点の把握や段落相互の関係を把握する学習につながっていく。

(2) 児童について

本学級の児童は「くちばし」の学習を通して、挿絵と文を照らし合わせながら書かれていることの大体を楽しんで読むことや、説明文の基本的なパターンである「問い」と「答え」の文型を学んできた。学んだことをいかして「くちばしクイズ」を作る言語活動を行い、写真や文からくちばしの形や使い方を探して書き抜くことができるようになった。しかし、教材文と書き方が変わると、自分が必要な情報を取り出せなかったり、書かれている事柄の順序を考え、内容の大体を考えて表現できなかつたりする。そこで、本単元では、自動車について書いてある文章を対比させながら読むことで、必要な情報を適切に取り出し、条件にあった文に書き換える力を育てたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、「自分の知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みがなぜそうになっているのかを文章から見つけながら読む力」を身に付けるため、「おきにいりのじどう車をともだちにしょうかいしよう!」という言語活動を位置づける。「紹介カードを書いて交流する。」というゴールを目指し、教材文で学んだ事をいかし、単位時間の後半には自分が選んだ本の中の「しごと」と「つくり」を読む時間を設定する。

紹介カードを完成させるために、毎時間導入の中で、本時が完成に向けてどの段階で、何ができれば達成できるかを「見通す」時間を位置付ける。展開では、自分達の本の読みに移る際、教材文での学びをどういかに「振り返る」時間を位置付ける。終末では、本時の目標を達成できたか、分かったこと、次時で頑張りたいことを簡単に「振り返る」時間を位置づけ、ゴールに向かって主体的に学ぶ力が育つと考える。

3 単元の目標

- 知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、じどう車の仕組みなどについて説明した本や文章を読もうとしている。【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 自分の知りたい事や興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みがなぜそうになっているのかを文章から見つけながら読むことができる。【読むこと】
- 平仮名及び片仮名を正しく読むことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 指導計画(おきにいりのじどう車をともだちにしょうかいしよう! : 10時間扱い 本時 5/10)

次	時間	学習活動
一	2	教師の提示するじどう車カードのモデルから、学習の見通しをもつ。
二	6	じどう車カードを作るために、教材文を読んで書く方法を学び、カードに書く。(本時第3時)
三	2	カードの内容を見直して清書し、友達と交流する。

5 本時の指導について

(1) 目標

「おきにいりのじどう車カード」を作るために、バスやじょうよう車とトラックの「しごと」と「つくり」を比べることができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
読む能力	バスやじょうよう車とトラックの「しごと」や「つくり」について、比べながら説明している。	色分けの工夫や板書を通して比較し、ペアでの対話や全体の場での交流を行いながら比べさせる。

(3) 指導の構想

「おきにいりのじどう車」カードを作るために、教材文を使った学習の後にどの部分に着目すれば見つけることができるかなどの観点を示し、自分が選んだ車の「しごと」を見つける活動にいかす。

(4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法） ☆見通す・振り返る活動
導入 5分	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の課題を把握する。	全	○前時紹介カードに「しごと」を書いたことを確認する。
	「しごと」と「つくり」のにているところとちがうところをくらべ、ともだちにつたえよう。		
展開 25分	3. 課題解決の見通しをもつ。 4. 課題を解決する。 (1) 音読をする。 (2) 「しごと」と「つくり」を確かめる。 (3) 全体で確認した後、似ているところや違うところを考える。 (4) 比べて分かったことを交流する。 (5) 観点をまとめる。	全 ペア 全	☆本時では、バスやじょうよう車とトラックの「しごと」と「つくり」を比べること。それが、おきにいりのじどう車カードを作るポイントになることなど、学習の流れを確認し、学習の見通しをもたせる。 ○音読をすることで「しごと」と「つくり」の構成を想起させる。 ○バスやじょうよう車とトラックの「しごと」と「つくり」について比較することができるように板書を工夫する。 ●【読むこと】 バスやじょうよう車とトラックの「しごと」や「つくり」について、比べながら説明している(ワークシート・発表)。
終末 15分	5. 自分が紹介したい自動車と比べる。 6. 学習を振り返る。	個 ペア 個	○本時の学習をいかし、自分の選んだ自動車との似ているところや違うところを考えさせる。 ○ペアで対話しながら考えさせる。 ☆活動を振り返り、自分の学びの評価を行う。
	バスやじょうよう車とトラックのにているところやちがうところがわかった。くらべてよむことができた。お気に入りの車でもにているところやちがうところを見つけることができた。		
	7. 次時の見通しをもつ。		